

平成26年青森県花き生産状況

農産園芸課

1 概況

平成26年の花き作付面積は130ha（前年比10ha増）で、産出額は19億6,200万円（同900万円減）、栽培戸数は1,000戸（同60戸増）となった。

表1 生産状況

（単位：ha、千鉢・千本、百万円、戸、%）

年次 \ 項目	作付面積	生産数量	産出額	栽培戸数
26年	130	28,494	1,962	1,020
25年	120	27,376	1,971	940
26年/25年	108	104	100	109

2 作付面積

- (1) 切花類の作付面積は101ha（前年比111%）となった。
品目別では、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク)が25haと最も多く、全体の20%を占めた。次いで、サクラ(枝物)が12ha、トルコギキョウ9ha、ヒマワリ4ha、バラ3haの順となり、多くの品目が微増した。中でも、カンパニュラ（141%）の増加が著しかった。
- (2) 鉢もの類の作付面積は12ha（前年比95%）となった。品目別にはシクラメンが2haで最も多く、次いでポットローズ、サクラソウがそれぞれ1haとなった。
- (3) 苗もの類の作付面積は6ha（前年比105%）となった。

表2 作付面積

(単位：a, %)

区分	年次				26/25	
	26年	割合	25年	割合		
切花類	10,050	77	9,114	76	110	
主要品目	キク類	2,525	19	2,626	22	96
	サクラ(枝物)	1,244	10	1,447	12	86
	トルコギキョウ	881	7	766	6	115
	ヒマワリ	365	3	290	2	126
	バラ	339	3	308	3	110
	リンドウ	266	2	236	2	113
	アスター	188	1	174	1	108
	アルストロメリア	179	1	168	1	107
	ストック	162	1	140	1	116
	カンパニュラ	156	1	111	1	141
	ユリ類	154	1	172	1	89
	宿根カスミソウ	152	1	157	1	97
	グラジオラス	149	1	154	1	97
	デルフィニウム	94	1	87	1	109
	鉢ものの類	1,174	9	1,232	10	95
主要品目	シクラメン	200	2	184	2	109
	ポットローズ	109	1	94	1	116
	サクラソウ	92	1	94	1	98
花木類	651	5	562	5	116	
苗ものの類	553	4	528	4	105	
芝類	400	3	400	3	100	
球根類	140	1	140	1	100	
合計	12,969	100	11,977	100	108	

: 重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

3 産出額

- (1) 切花類の産出額は10億6,400万円(前年比102%)となった。
品目別では、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク)が3億5,200万円と最も多く、全体の18%を占めた。次いで、トルコギキョウが1億4,700万円、バラが1億3,500万円、アルストロメリアが7,800万円の順となった。また、前年に比べカンパニュラが125%、バラが124%に増加した。
- (2) 鉢ものの類の産出額は5億5,800万円(前年比96%)となった。品目別では、ポットローズが1億5,800万円と最も多く、次いでシクラメンが6,000万円、サクラソウが3,600万円となった。
- (3) 苗ものの類の産出額は1億8,400万円(前年比98%)となった。

表3 産出額

(単位：百万円，%)

区別	年次		年次		26/25	
	26年	割合	25年	割合		
切花類	1,064	54	1,043	53	102	
主要品目	キク類	352	18	376	19	94
	トルコギキョウ	147	7	148	8	99
	バラ	135	7	109	6	124
	アルストロメリア	78	6	120	6	65
	ユリ類	28	1	32	2	88
	カンパニュラ	25	1	20	1	125
	ヒマワリ	23	1	23	1	100
	宿根カスミソウ	19	1	19	1	100
	アスター	16	1	17	1	94
	チューリップ	12	1	12	1	100
	ストック	12	1	12	1	100
	リンドウ	10	1	10	1	100
	カーネーション	10	1	13	1	77
	グラジオラス	7	0.4	7	0.4	100
	デルフィニウム	7	0.4	4	0.2	175
サクラ	5	0.3	9	0.5	56	
鉢もの類	558	28	583	30	96	
主要品目	ポットローズ	158	8	142	7	111
	シクラメン	60	3	64	3	94
	サクラソウ	36	2	38	2	95
苗もの類	184	9	188	10	98	
花木類	97	5	98	5	99	
芝類	55	3	56	3	98	
球根類	2	0.1	2	0.1	100	
合計	1,962	100	1,971	100	100	

: 重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

4 地域別の生産状況

- (1) 地域別の作付面積は、三八地域が4.2ha（全体の3.3%）で最も多く、次いで中南地域が3.8ha（同2.9%）、東青地域2.3ha（同1.8%）、西北地域1.8ha（同1.4%）の順となった。前年に比べ、西北、三八、下北地域で増加した。
- (2) 地域別の産出額は、三八地域が6億5,600万円（全体の3.3%）で最も多く、次いで中南地域6億円（同3.1%）、上北地域3億5,600万円（同1.8%）、西北地域2億8,700万円（同1.5%）の順となった。前年に比べ、三八地域で増加した。

表4 地域別生産状況

(単位:a、%、百万円)

地域	作付面積					産出額					主な品目
	26年	割合	25年	割合	26/25	26年	割合	25年	割合	26/25	
東青	2,290	18	2,312	19	99	59	3	57	3	104	キク、トルコギキョウ、カーネーション
中南	3,778	29	3,912	33	97	600	31	654	30	92	キク、アルストロメリア、トルコギキョウ、鉢もの類
三八	4,234	33	3,502	29	121	656	33	580	34	113	キク、カンパニュラ、花木類、鉢もの類
西北	1,836	14	1,452	12	126	287	15	295	11	97	キク、トルコギキョウ、宿根カスミソウ、鉢もの類
上北	783	6	762	6	103	356	18	381	22	93	鉢もの類、バラ、グラジオラス、リンドウ
下北	48	0.4	38	0.3	125	4	0.2	7	0.2	57	キク、苗もの類
合計	12,969	100	11,977	100	107	1,962	100	1,971	100	100	

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

5 バケット出荷の状況

バケット出荷は、JA花き部会単位で進んでおり、カンパニュラ（バケット出荷率99.6%）、カーネーション（同45.5%）、デルフィニウム（同33.3%）、トルコギキョウ（同14.6%）、バラ（同13.5%）、ヒマワリ（同10.3%）で取り組まれた。

表5 切花類のバケット出荷状況

（単位：a、千本、%）

種類名	施設・露地栽培計			
	作付面積	生産数量	バケット出荷量	バケット出荷率
カンパニュラ	156	506	504	99.6
カーネーション	110	202	92	45.5
デルフィニウム	94	87	29	33.3
トルコギキョウ	881	1,336	195	14.6
バラ	339	1,381	187	13.5
ヒマワリ	365	546	56	10.3
合計	1,945	4,058	1,063	26.2

6 JA全農あおもりの取扱状況

- (1) JA全農あおもりの平成26年花き取扱状況は、数量で852万本（前年比106%）、販売額で5億7,800万円（同99%）となった。
- (2) 県全体の産出額に占めるJA全農あおもり販売金額の割合は、29%となった。

表6 JA全農あおもりの取扱状況

（単位：千本、百万円、円、%）

年次 \ 項目	農協数	数量	金額	単価	シェア
26年	10	8,520	578	68	29
25年	10	8,015	583	73	30
26年/25年	100	106	99	93	100

（注）シェア：（JA全農あおもり販売金額÷県産出額）×100